

令和3年度 事業報告

施設名 幼保連携型認定こども園

同朋保育園

事業年度	定員				児童数(年平均)				充足率(%)			延長保育利用人数(延人数)		園庭開放他(延人数)
	70	人	1号 2,3号	70 人	76	人	1号 2,3号	76 人	109	1号 2,3号	109 人	30分延長	1時間延長	
平成29年度	70	人	1号 2,3号	70 人	76	人	1号 2,3号	76 人	109	1号 2,3号	109 人	101	72	193
平成30年度	70	人	1号 2,3号	70 人	74	人	1号 2,3号	74 人	106	1号 2,3号	106 人	118	51	156
令和元年度	70	人	1号 2,3号	70 人	77	人	1号 2,3号	77 人	110	1号 2,3号	110 人	123	38	296
令和2年度	70	人	1号 2,3号	70 人	77	人	1号 2,3号	77 人	110	1号 2,3号	110 人	73	51	70
令和3年度	85	人	1号 2,3号	15 70 人	81	人	1号 2,3号	6 75 人	96	1号 2,3号	40 107 人	73	39	150

法人基本 運営方針	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> 《保育理念》 ・人は大切、子は宝 《保育方針》 ・豊かな人間性を育む。 《保育目標》 ・元気いっぱい遊ぶ子ども ・友だちいっぱいできる子ども ・挨拶きちんとできる子ども ・命大事にできる子ども ・創意工夫のできる子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人を大切にされた保育を行う。主体性を尊重し、個々の気持ちを受け止める(1日1ほめ) ・虐待防止と早期発見(チェックリスト年3回) ・権利擁護の実践と研修(年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児保育(グループ活動)の実施(週2回) ・虐待チェックリスト(年3回) ・権利擁護チェックリスト(年2回) ・権利擁護研修(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3~5歳児クラスの異年齢でのグループ活動を1年間テーマに沿って行った。生活の中で発見した事を共有し、社会性や協調性を育む事ができた。また、グループ活動の1年間の内容を掲示するなど発表する場を設けた。 ・権利擁護の研修の実施やチェックリストをつけることにより、子どもの人権を考えた日々保育の振り返りを行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児のグループ活動を週2回テーマに沿って活動し、3年度、コロナ禍で実施できなかったグループ発表会で子どもたちの気づき・学びについて発表し保護者と共有する場を作っていく。 ・1日1ほめを目標にする事で日々の関わりを深める。良いところを認め、否定的ではなく肯定的な言葉を使う事を意識し、主体性の尊重と自己肯定感を育てていきたい。 ・担当のクラスのみでなく、隣のクラスや他の保育士と子どもの関わりの中で気になることがあれば職員同士で声をかけあえる環境を作る。
サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容・質の向上を図る。 ・職員の質の向上を図る。 ・保護者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や特性に沿った適切な援助を行う。 ・子どもたちが自ら選んで遊べる環境を整え、成長・発達に応じた遊びの提供を行う。 ・事故や怪我を未然に防ぐために危機管理意識を高める。 ・行事や懇談会を通して子どもの育ちを共有し、利用者の意見を聞き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の見直し ・保育環境の見直し ・幼児期に育って欲しい10の視点を指導案に入れこみ日々の保育に取り組む。 ・リスクマネジメントの強化(ヒヤリハット会議での周知) ・年度末に保護者への保育のアンケート実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で行事の中止や変更を行いながらも内容等を見直しするよい機会となった。 ・コロナ禍での環境を整えながらも年齢に合った玩具を揃えるなどの環境の見直しを行った。 ・毎月のヒヤリハット会議にてヒヤリの内容について周知・共有することで、環境による怪我の減少につながった。 ・年度末に保育アンケートを実施し保護者の声が聞く事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境の見直し(年齢にあった玩具)、指導計画の見直し(三本柱・10の姿)を行う ・各委員会を中止に保育内容、リスクマネジメントの強化、環境、節約に努めていきたい。 ・園内研修を充実させる(危機管理・保育内容・権利擁護・指導計画立案) ・ヒヤリハットメモの提出率が年度中盤になると低い為今後も提出を促し、ヒヤリの内容について共有していきたい。 ・年度末の保育アンケートの実施
地域との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた施設づくりを目指す。 ・多様な主体の連携・協力 ・地域との共同 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の保護者や地域の子育て家庭への子育て支援の強化を図る。 ・地域の中の保育園として地域の公園清掃に参加し地域の方と触れ合う機会を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て事業の強化 ・子育て広場(年48回予定中24日開催) ・心理カウンセラーによる育児相談(年間12回予定中年間6回開催) ・地域清掃園周り(月2回) ・護国神社清掃(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で子育て広場の開催は少ないが育児相談の機会を設けたり、行事などで飾りやお菓子を配布するなど工夫し子育て支援に努めた。 ・心理カウンセラーによる育児相談も3年目となり保護者にも定着し、自ら相談したいとの声が増えつつある。 ・地域清掃を通して地域の方と触れ合う機会を持つように意識した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもできることを工夫して行い、地域の子育て支援を積極的に行ってきたい。 ・心理の先生による育児相談や講座など今後も取り入れ、気になる子や保護者、職員への支援につなげていきたい。 ・地域清掃月2回、グループ活動で公園の掃除などを行った。
人材育成、適切な人事・労務管理	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成に努め、働きやすい職場を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境を目指し、業務の改善をする。 ・新任職員に教育係を一人つけ丁寧に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務時間の確保 ・有給休暇取得率アップ(65%) ・新任教育係による新任職員教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の体調不良による退職が重なり事務時間や休憩を確保するのに苦労した。 ・新任職員に教育係をつけることで、保育の内容や事務手続きなどの細かい部分も丁寧に指導することができ、新任職員も安心して1年間業務を終えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も業務の見直しを行い、職員が協力しあって働きやすい職場づくりを目指していきたい。 ・令和4年度は8人の新任職員が入職するため、一人一人の担当は難しいが職務毎に分担し、安心して仕事ができる環境づくりを作っていきたい。